



ワールドニュース レビュー・最新レポート



左派新連合の軸にマクロン

注目の左派新連合

「パリ時事」が6月12・19日のフランス総選挙（国民議会選挙／定数577）で、第1期目に入ったマクロン政権の与党連合「共和国（Ensemble）」に対する新たな左派連合「Nupes」が掲げた議席を分け合うかが注目されている。

左派新連合とは、大統領選第1回投票で22%を獲得した「服従しないフランス」党（LFI）のメランシオン氏の呼びかけで欧州エコロジー緑の党

インターネットと戦争

自民党公表の「新たな国家安全保障戦略等の策定に向けた提言」批判を中心に

Table of Contents

- はじめに
- 政府の「次期サイバーセキュリティ戦略」
- 自民党「新たな国家安全保障戦略等の策定に向けた提言」について
- サイバー領域で先行する軍事連携
- 武力行使、武力による威嚇
- 「フレアゾーン」と「ハイブリッド」への関心の高まり
- 憲法9条が想定している「戦争」の枠を超えている
- 何をすべきなのか

新連載 <第1回>

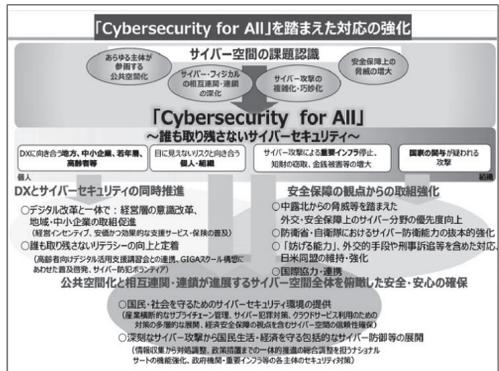
①はじめに 戦後の反戦平和運動のなかで「サイバー戦争」に特に注目して、どのようにしたら「サイバー戦争」の放棄が可能なのかに主要な関心をもった議論はまだ少ないのではないかと、本稿ではこの問題を考えるひとつの手掛かりとして、自民党が2022年4月に公表した自民党「新たな国家安全保障戦略等の策定に向けた提言」以下「提言」と呼ぶもののなかのサイバー関連の言及を中心に、反戦平和運動がサイバー領域を従来の軍事安全保障の考え方で対応しきれない課題であることを確認して、戦争放棄のための運動の再構築のためにささやかながら私からの問題提起にしたいと思う。

小倉利丸サイトより転載紹介です。モン編集

②政府の「次期サイバーセキュリティ戦略」 「提言」に触れる前に、その前提になっている政府による2021年7月に「次期サイバーセキュリティ戦略」について簡単にみておきたい。この戦略では次のように述べられている。

「我が国を取りまく安全環境は厳しさを増し、サイバー空間は、地政学的緊張も反映した国家間の競争の場となっている。中国、ロシア、北朝鮮は、サイバー能力の構築・増強を行い、情報窃取等を企図したサイバー攻撃を行っている」とみられる。

この現状認識では、明確に周辺諸国を事実上の敵国とした上で必要な政策として「先端技術・防衛産業等のセキュリティ確保」等の強化、「米露印やASEAN等同志国との府省庁横断的・各府省庁における国際連携」を指摘して



「Cybersecurity for All」を踏まえた対応の強化

DX推進とサイバーセキュリティの両立

DX推進とサイバーセキュリティの両立

DX推進とサイバーセキュリティの両立

「パリ時事」が6月12・19日のフランス総選挙（国民議会選挙／定数577）で、第1期目に入ったマクロン政権の与党連合「共和国（Ensemble）」に対する新たな左派連合「Nupes」が掲げた議席を分け合うかが注目されている。

この勢いで国民議会で過半数をとり政府を掌握する最大野党勢力としてマクロン政権を牽制しようとしている。

ロシアのウクライナ侵攻などを背景に物価高騰が続く中、メランシオン氏は最低賃金の引き上げや退職年齢の引き下げを掲げ、マクロン氏支持層切り

「パリ時事」が6月12・19日のフランス総選挙（国民議会選挙／定数577）で、第1期目に入ったマクロン政権の与党連合「共和国（Ensemble）」に対する新たな左派連合「Nupes」が掲げた議席を分け合うかが注目されている。

この勢いで国民議会で過半数をとり政府を掌握する最大野党勢力としてマクロン政権を牽制しようとしている。

ロシアのウクライナ侵攻などを背景に物価高騰が続く中、メランシオン氏は最低賃金の引き上げや退職年齢の引き下げを掲げ、マクロン氏支持層切り

世界的食糧危機迫る



世界的食糧危機迫る

世界的食糧危機迫る

世界的食糧危機迫る

世界的食糧危機迫る

世界的食糧危機迫る

世界的食糧危機迫る

世界的食糧危機迫る

世界的食糧危機迫る

世界的食糧危機迫る



世界的食糧危機迫る

大阪労働学校・アソシエ 2022年度講座がスタート

大阪労働学校は新大阪駅に近い協同会館アソシエに教室と事務所を移し、5月より新年度の講座を開講しました。オンラインを併用することで全国から参加があり、幸先の良いスタートとなりました。

「社会運動と社会教育」講座は、労働学校や市民教育の歴史に詳しい奥村旅人講師に担当していただき、社会運動は社会教育と不可分な関係にあること、そして社会運動の現場こそが教育の現場であることを学ぶことができました。

「もの見方・考え方」講座は二人の講師が担当しています。齊藤日出治講師は、「近代市民社会の政治と社会闘争の課題」というテーマで、関西生コンの弾圧に現れた現代資本主義の根源的な危機を問いつつ、この危機に対応する社会闘争の意義と課題を論じています。

田畑聡講師は、マルクス思想の21世紀の課題が、ひとが生活することの総過程的展開にあると提言し、そこへ向けた哲学的な分析・思考を論じています。今後、話題の斎藤幸平氏の議論も扱う予定です。

協同組合論は開学以来続いている講座で、津田直則講師が引き続き担当されています。

津田講師は、研究の集大成となる新著「資本主義を超える経済体制と文明—改革から変革へ—」(見洋書房)を刊行予定です。講座ではこの著作を紹介し、社会的連帯経済を実現するための価値観、倫理、システム、その概観を講義してくれました。他にも、学長が主催する『資本論』読書会等も定期的に開催しています。

ホームページには各講座の資料をアップし、SNSでも講座の告知を流していますのでご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしております。(大阪労働学校 事務局より)

教室は新大阪駅近くの協同会館アソシエ

6・7月の講座案内

- ▶ **もの見方・考え方**
「21世紀とマルクス」 6/22⑧ 7/27⑧
午前10時から 教室開催(オンライン参加可)
- ▶ **社会運動と社会教育**
7/11⑧ 午前11時から教室開催(オンライン参加可)
- ▶ **松尾匡講師 経済学**
「マルクス、ドイツ・イデオロギーを読む」
7/23④午前10時から(オンラインのみ)
- ▶ **協同組合論**
7月中の日曜予定(オンラインのみ)
- ▶ **もの見方・考え方**
「コミュニズムの原像を考える」
7/13⑧ 午前10時教室開催(オンライン参加可)

ホシモノのたたかいをめざし、今こそ関生魂!



本物の、武建一さんを見ようと集まった参加者



棘2独白

この間、「関西生コン支部」と前委員長武建一さんをめぐる動きの、何が「真実」なのかという思いを込めて、6月4日(土)映画「棘2独白」上映会(東京・文京区民センター)が開かれた。当日は、生(なま)の武建一さんを、この眼で見たい、声を聞きたい、真相を知りたい等の思いを持った人々が開場前から続々と集まった。

参加者70名。まず、映画の「主役」武建一さんよりのあいさつを頂き、映画上映。

本作の映画監督・杉浦ひろ子さん、プロデューサー・平林猛さんの、映画にまつわる話。

そして「飛び入り」で今映画のナレーションを担当した俳優久保鷹さんから、今映画上映会への熱いあいさつを頂いた。次に木下武勇さん(関

上映会 報告 熱い映画会—武さんも登場

生弾圧と産別労働組合の再建—講義

6月27日(月)第10回 裁判予定の「週刊実話」弁護士両氏より、同日に開かれる東京地裁へ結果を告げる熱い訴え。

会場からも連帯あいさつを受け、あっという間に中身の濃い集会を終えた。

参加された皆さんは、みな武建一パワーの健在を改めて確認したと思う。この様な集会を全国各地でも次々と、と思ふ。(東京・乱鬼龍)



勝利判決喜ぶ住民原告団



勝利判決喜ぶ住民原告団

泊原発運転差し止め命令!

北海道内の住民1200人以上が北海道電力泊原発(泊村)運転差し止めを求めた訴訟で、札幌地裁が5月31日札幌地裁で判決を出した。判決は、運転差し止めを命じた。これは、北海道電力が、原発1号機から3号機の運転差し止めを命じた。原告弁護団によると、津波対策が不十分であること、理由とした運転差し止め命令は、初めてのこと、原発再開に賛同する自公政権に痛烈な警告の判決だった。

この判決のなかで、原発が原子規制委員会の限定した安全性の基準を満たさず、どうかは知能や資料を持つ電力会社が立証する必要があるとの真つ当すぎる指摘があった。

原発を維持したいとする会社が立証責任を尽くさない場合は、原発が安全性を

札幌地裁判決「不十分な津波対策」立証責任から逃げる北電を痛撃

戦争は女の顔をしない

100万もの女が語る第2次大戦の真実

S・アレクシエーヴィチ著 岩波新書
コミック版 作画・小梅けいと KADOKAWA

2015年ノーベル文学賞のアレクシエーヴィチは、歴史からほろぼれ、国家の底の弱者、その落ちたソ連民衆の生の声を聞き、あっという間に中身の濃い集会を終えた。

2015年ノーベル文学賞のアレクシエーヴィチは、歴史からほろぼれ、国家の底の弱者、その落ちたソ連民衆の生の声を聞き、あっという間に中身の濃い集会を終えた。

年々、100万人もの女性が従軍した第2次大戦のソ連で、英雄としてではなく、生身の従軍女性に初めて光をあてた。

「戦争は女の顔をしない。しかしこの戦争で我々の母親たちの顔ほど敵しく、すさまじくまた美しい顔として記憶されたものはなかった」

ウクライナ出身の彼女が、現況のウクライナ戦争にどんな声を発するのかわか?

「世界は耳を澄ませ待っている。」

コモンズ川柳

乱鬼龍

迫る危機 なにの巻のノータキ
脱マスク 脱洗脳へロビーク
この国の政治劣化の すさまじき
参院選 覚悟はありや 日本人
資本主義 ウンデラマを まき続け

「コモンズ」取扱店

群馬 ●三光堂書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15

東京 ●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15

大阪 ●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15

京都 ●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15

福岡 ●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15

沖縄 ●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15
●丸正書店 伊勢崎市大町2の15

編集室から

●参院選の東京選挙区は政治の混迷を象徴するような状況だ。野党はエース候補ハラハラに立候補し、自公政権に拒否を突き付けた。多くの有権者が困惑しているように見える。戦争物産の高騰と、人々が不満や恐怖をどこにぶつけるのか、いよいよ見えなくなりつつある。この選挙を通じて人々と対話し、投票だけでは見えない潜在的な選挙への希望を掴むことは無駄ではないと信じている。

(東京)

●5月29日(日)沖縄意見広場運動報告集会(6月4日(土)映画「棘2」上映の集いも終え、27日(月)週刊実話裁判(第10回公判・東京地裁)「参院選(イ)八洋」勝手連。7月23日(土)「棘2」映画上映。そして8月、9月の予定へと...これが乱鬼龍全仕事の日々。中正遺の死の間際の言葉は「現在を救え!」呼び行動する覚悟はあるのかと...「戦争」「コロナ」「貧困」差別...私たちは今日のこの時代の中で「現在を救え!」と叫び行動する覚悟はあるのかと...より強く思う日々の中で行動を続けている。(乱)

●最新の世論調査で、バイデン支持は36%に落ち...ウクライナに賛同する声は僅か5%。米国民にとって東欧の元々は兄弟国同士の争いなどそんな程度なのか。戦局はロシアによる一方的殺戮の段階に移りつつあるのに、未だ戦争に拘り煽る連中の醜さを告発していかねばならない。(関西M)